

2023年 月 日

## 兵庫県2024年度予算編成にむけての要請署名

兵庫県知事 齋藤元彦様

要請団体 **兵庫県福祉4団体**  
要請者代表 柳田 洋  
団体住所 〒650-0016 神戸市中央区橋通3-3-9  
全国福祉保育労働組合兵庫地方本部気付  
☎ (078) 341-4170

### 要請趣旨

日頃から、兵庫県下の福祉の充実に努力して頂いていることに敬意を表します。  
日本国憲法25条に定められた国の責任においてすすめられるべき福祉行政が、民間移管や諸制度の規制緩和、そして「自助・互助・共助そして公助」さらには「自己責任」の考えのもとで、行われるようになりました。本来の国の責任で行うべき福祉が後退しています。  
コロナ禍は、そうした「自助努力・自己責任」では、子ども・障害者・高齢者・家族の利用者と、そこで働く職員のいのちも健康もくらしも守れないことを明らかにしました。  
この3年間の新型コロナ禍と諸物価高騰のもとで、子ども・障害者・高齢者の福祉の分野で、緊急の解決すべき課題が浮き彫りになっています。  
職員不足の現場は、心身ともに疲労が重なり、事故の原因に繋がりがねません。また、離職者さえ出ています。感染は、利用者と家族の生活を守ることの困難さ、事業所は多額の報酬減で事業の継続さえ難しくなっています。国・県・市・町のコロナ対策諸補助事業はこの困難をしのぐ一定の役割を果たしました。しかし、コロナが2類から5類に替わり、感染実態の把握がほとんどできなくなり補助事業も打ち切りとなれば、まさに困難な事態となります。  
今後とも、感染症や災害時に備え、国や自治体が補助支援制度を充実し、安心して、ゆとりを持って、心通う保育や介助・介護にあたるよう要望します。  
特に、職員配置基準の改善、賃上げなどの処遇改善や環境整備は不可欠です。  
下記の私たちの切実な願い・要請項目を真摯に受け止めて頂き、福祉で働く喜びが感じられる職場の実現に努力して頂くことを切にお願い致します。

### 兵庫県福祉4団体は次の4団体で構成しています。

兵庫障害者連絡協議会  
兵庫県保育所運動連絡会  
兵庫県学童保育連絡協議会  
全国福祉保育労働組合兵庫地方本部

## 子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の基準・施策の抜本的改善を求める請願書

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

年 月 日

紹介議員 \_\_\_\_\_

請願代表者氏名 \_\_\_\_\_

外 名

### 請願趣旨

政府は、国が直面する最大の危機である少子化を反転させるとして「こども未来戦略方針」を閣議決定しました。「75年ぶりの配置基準改善」として、私たちが長年求め続けてきたことが盛り込まれましたが、実施の時期は明記されていません。また、「こども予算倍増」が2030年代初頭までに先延ばしされる一方で、「防衛予算倍増」は2027年に達成する見込みが示されています。さらに子育て支援策の財源確保のために医療など社会保障費の削減や社会保険料の値上げ等が検討されており、市民の中に不安が広がっています。  
この間、保育・学童保育の職員配置や施設基準の改善はすすまず、国際的にも低い水準のまま放置され、職員の負担が増大しています。そして、保育者の賃金などが全産業平均よりも低い実態が人手不足をまねき、現場を疲弊させています。また、待機児童が減ったとはいえ、多くの隠れ待機児童が存在するなど、いまなお必要な保育が受けられない状況があります。人口減少地域においては、保育・子育て支援ニーズに充分に応えられず、施設運営も困難になっています。いま、乳幼児期からの安心できる子育てのためには、日常的に子どもの育ちと子育て家庭を支える、社会資源としての保育・学童保育の維持・拡充がどうしても必要です。  
どのような状況にあっても、国・自治体の公的責任において、全ての子どもに安心・安全で質の高い保育が平等に保障されるよう、保育・学童保育にかかわる子どものための予算を大幅に増やし、基準・施策の抜本的な改善をただちにすすめるよう、以下について請願します。

### よりよい保育を！実行委員会

(連絡先) 全国保育団体連絡会  
☎162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 保育プラザ  
☎03-6265-3171

### <取扱団体> 兵庫県福祉4団体

〒650-0016 神戸市中央区橋通3-3-9  
全国福祉保育労働組合兵庫地方本部気付  
☎078-341-4170